

目次

- (1) 第4回藍旗賞授与式開催
- (2) 各OB会組織結成
- (3) OB会30周年記念式典
- (4) 平成7年度活動報告及び決算報告
- (5) 平成8年度活動計画及び予算
- (6) 会費の自動振込方式の推進について

東京国際大学体育会OB会

藍旗会報

発行

藍旗会

(東京国際大学体育会OB会)

連絡所

〒350 埼玉県川越市の場北1-13-1

東京国際大学同窓会内

電話 0492-32-2080



第4回藍旗賞授与式開催

平成8年2月3日、東京池袋のホテル第一イン池袋において、藍旗会主催による「第4回藍旗賞授与式及び祝賀会」が開催された。

まず藍旗の歌の曲の流れる中、受賞者4名が入場してくると会場内にいる出席者全員が拍手で迎えた。東村眞会長は「早いものでこの『藍旗賞』も制定してから4回目を迎えた。この表彰は輝かしい成績を残して受賞した人々が多い。大学当局の体育会活動に対するサポートの弱さはあるが、今回受賞した人が後輩の指導や更に良い成績を挙げて今後とも活躍すれば、大学の地位向上に貢献する」と挨拶があった。

来賓の同窓会会長の三宅ヨシロウ氏も、同窓会奨学金の例を出して

「藍旗賞は内容も愛情に溢れ、関係者から祝福されている賞である」と激励の祝辞があった。

今回の藍旗賞受賞者は、個人の部が3名と団体の部が1団体であった。

授与式は、一人ずつに賞状とトロフィーと記念品が贈呈された。今回の受賞者は次の方々。

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| ① ローラースケート同好会 4年 藤野健児さん | ② アーチェリー部 3年 榎本 朗さん |
| ③ 剣道部 3年 小林拓也さん | ④ ワンダーフォーゲル部 |

活動基盤の確立

東村 眞 (藍旗会会長)

お陰様で、藍旗会会長3期目を迎える事となりました。過去4年間、微力ながら活動を「形」とする為に、役員の皆様と共に努力して参りました。

藍旗会の存在意義は、東京国際大学体育会所属のクラブの各OB会が、他のOB会と連携して有意義な活動を行うことにあります。その協調体制を整え、又、その総合力を生かして現役のクラブをサポートすると共に、大学の発展に寄与することでしょう。

その為に、「OB会間の連携」「会報の発行」「藍旗賞の制定」「OB会費集金代行システム」等、実行項目を徐々に実現して参りました。

今年は、1.「休眠OB会の活性化のサポート」と2.「藍旗会の運用経済基盤の確立」を目指したいと思います。

喜ばしいことに、1.に関しては、2～3のクラブが活動を再開したとのニュースがあります。大学も30周年を過ぎ、初期のOBも50才台になった現在、各クラブもう一度初志を振り返って頂きたいと思います。

2.に関しては、藍旗会の経済基盤は、参加OB会員の浄財で賄われており、大学・同窓会・他からの援助はありません。このような環境下、以前から行っていた、休眠会員を含む、全会員に対するサービスを今後は従来と異なった運用をせざるを得ない状況になりました。つまり、会費未納のOB会へのサポートも限界に近づき、一部制限して、経済基盤の立て直しを図りたいと思います。

以上の主旨を全会員の皆様にご理解頂き、各OB会が益々充実した活動をして頂けるよう、藍旗会も着実に努力して参ります。どうぞ、今後共皆様のご協力をよろしくお願い致します。



かすみ

大学では学生達が青春を謳歌している。平和な学園で勉強やクラブなどの課外活動を楽しんでいる姿がいい。◆東京国際大学の創学者である金子泰蔵初代学長の自叙伝「たった一人の寺子屋から」によると、昭和四十三三年頃から全国の大学に吹き荒れた学生運動は、我が国にも押し寄せた。大学側は自治権を守ることに必死になっていた。◆過激派の学生らが正門から入り込もうとした時に、体を張って阻止したのは、体育会に所属していた学生たちだ。そのお陰で大学の自治は守られた。古くからいる関係者はこの事実を十分知っているはずだ。体育会の学生やそのOBらは、真の大学の発展を望んでいる。同窓会に入らないことを誇りに思っているなどという者は一人もいない。◆現在平穩に運営されている東京国際大学の関わり合っている関係者に、苦難の道を切り開いてきた先駆者が多くいた事を認識してもらいたい。体育会など組織に関わってきた者は、どんな役割についても権力を振るう人は少ない。◆組織を体験した事のない人間が肩書に「長」なる者が付くと権力を振り出し、自分の事しか考えなくなる傾向がある。会(同窓会も含めて)というのは、いつもそこに所属する会員の為に貢献することが必要であり、役員は一番の職務である。◆現在が良いからといって努力していかないとしつぱ返しを食らうのは本人であり、その団体である。大学も含めて、体育会OB会である藍旗会は、過去の苦難を乗り越えた時の事を認識して謙虚な姿勢で更に進んで欲しいと思う。◆「いざ行かん雪見に転ぶ、ところまで」という句があるが、真の学園は苦難の道乗り越えた時に実現するようだ。

(岳泉)

各 O B 会 組 織 結 成

T I U サッカー部 O B 会 正式に設立！

去る平成8年6月8日、池袋駅東口「カンボヘルスプラザ東京」において念願であったサッカー部 O B 会設立総会が現役3名を含む総勢25名の参加のもとに盛大に開催された。

総会では、会則が制定され O B 会費年額3,000円（O B 会の運営費、現役への援助費、藍旗会費等に充当させる）とすることを決定し、役員が選出された。ここに正式に T I U サッカー部 O B 会が発足されることとなった。

総会後は懇親会が行われ学生時代の懐かしい思い出話に花が咲く中、一人一人の自己紹介、近況報告等も披露されるなど、終始和やかな雰囲気が進められ、最後は、又の再会を誓い合うとともに、T I U サッカー部 O B 会の発展、そして現役の活躍を祈って一本締めにて閉会となった。

尚、役員は次の通り。

会 長	2 期	義 間 一 志	会計幹事	11期	河 替 秀 成
副 会 長	2 期	榎 本 稔	監 査	1 期	岩 谷 雅 夫
副 会 長	12期	長 瀬 彰	監 査	4 期	笠 原 敬 三
事務幹事	1 期	柏 原 篁			

〒173 東京都板橋区板橋1-45-8 柏崎ビル2F

榎本稔税理士事務所

O B 会費振込先 第一勧業銀行 池袋支店

普通預金 2 5 3 9 3 6 3

口座名義 「東京国際大学サッカー部 O B 会

河替秀成（カワガエ ヒデナリ）」

ボディビル部 O B 会 組織結成

現在、体育会系部員の減少が著しく現役幹部の悩みであると聞きます。当ボディビル部も例外でなく、部員数が減少の一途をたどっています。このような今、我々 O B の力を結集し何か現役部員に出来ることはないか、援助、応援、アドバイスすることがないか、現役部員と接点を持って行動することが、必要ではないかと思えます。

現役の活躍の場である公式戦の日程や場所などの情報を O B へ、又 O B の現状を現役へと、情報交換の為に又今後 O B になる現役の為に、是非 O B 会を発足させ、今後も栄々と続く当クラブの発展に O B 全員のお力を貸していただきたい。

発足発起人16期 O B

片 山 裕 司

各 O B 会 報 告

硬式野球部新学年幹事発足

平成8年8月6日、役員会が開催され、霞球会（O B 会）組織をより発展させるため、新しく学年幹事を発足させることになり、以下が任命された。

1 期加藤、2 期畔田、3 期秋好、4 期長沼、5 期阿部、6 期川野上、7 期林、8 期高橋、9 期柏木、10期鈴木、11期山口、12期中嶋、13期山田、14期小野、15期北條、16期村田、17期谷口、18期和泉、19期井上、20期伊藤、21期林、22期平山、23期新井、24期小原、25期金井、26期篠崎、27期宮川、28期佐藤。

又、11月3日定例の霞球会総会には、規約改定を含め多数の事項がありますので、O B の皆様の多数の出席をお願いいたします。



バドミントン部 O B 会

我々、バドミントン部 O B 会は、数年前より、活動を行っていましたが、確固たる組織としては、まだまだ未熟で御座いました。

それを、昨年、阿部先輩の働き掛けを中心として、O B 会則の設立。又、11月3日には、川越の厚生年金会館にて盛大なイベントを繰り広げる事が出来ました。

これも、各 O B のクラブに対する思い入れがあればこそ実現できた事だと思っております。しかし、参加人数は全体の50パーセントにも及ばない実態を考えると、非常に残念で仕方ありません。

社会人である以上、仕事中心の生活になってしまうのは日本の世の中では、どうすることも出来ない事とは、十分承知しているのですが・・・

次回開催の場合は、何とか都合をつけていただき、一人でも多くの O B の参加を期待したいと存じます。

OB会30周年記念式典

剣道部30周年記念式典

剣道部の創立30周年記念式典及び祝賀会が、東京新宿のホテルセンチュリーハイアットにおいて平成7年9月15日、160名が出席して盛大に開催された。

記念式典では、剣道部OB会長の池内和彦氏と剣道の創始者である祝嶺正献最高師範の挨拶の後、大学剣道部の直接の師範である祝嶺最高師範と剣道部の歴代部長及び監督に対して感謝状及び記念品が贈呈された。

祝賀会にはいると、米国アトランタ在住の内田光信（4期OB）氏のメッセージ披露と平成8年4月に同地で開催される米国剣道協会設立20周年記念レセプション及び国際剣道競技大会開催の案内があり、OB・OGと現役部員に参加の要請があった。

OBの家族紹介や現役部員の父母紹介等に続き、「剣道部30周年記念誌」の作成から内容についての案内があった。また、「剣道部30年のあゆみ」をスライドとして会場内に映し出したが、それぞれの時代のOB・OGは、学生当時の出来事を思い出しながら見入っていた。

アトラクションでは、平成7年6月にCDが発売となった「剣道」と「剣道ひとすじ」の歌が、嶋あきら氏自身により披露され会場内は、全員合唱する等、大きな盛り上がりを見せた。

最後は、OB・OG達の持ち寄った協賛品の提供による大抽選会があり、リゾートホテル宿泊券や東京ディズニーランドパスポート等豪華賞品多数が参加者に当たった。

今回の開催にあたり、北は北海道から南は沖縄から等、全国各地から参加した多数のOB・OGがこの祝賀会を現役部員と共に祝い、そして楽しんでいた一日だった。

ワンダーフォーゲル部創部30周年記念式典

ワンダーフォーゲル部では、現役、OB会で30周年記念式典を平成7年11月25日に盛大に開催しました。当時は、総勢百名が出席し、加藤先生、三宅同窓会長、東村藍旗会長、池内同窓会事務局長をご来賓に向かえ、楽しく開催しました。クラブの伝統である「山の歌」を各グループごとに熱唱すると言ったいつものパターンでしたが、この良き伝統を重んじて、今度は、40周年目ざしてがんばりたいと思います。

OB会では、現在30名がOB会費を自動振込にしています。藍旗会で推薦したものであり、積極的に利用して下さい。また、現役部員が減少傾向にあります。現役があつてのOB会でするので、皆さんの会員の援助をお願いします。

（会長 長野）

親睦ボウリング大会開催

平成7年10月14日、東京田町にある田町ハイレーンで各クラブのOBが一堂に会しての親睦ボウリング大会が開催された。

はじめは、昨年のアジア大会の銀メダリストの関根直子さん（ボウリング部27期OG）によるワンポイントレッスンがあり、参加者はボウルの持ち方からどこに投球したらカウントが良くなるかなどに真剣に聞き入っていた。

競技は、個人戦（男・女）とクラブ対抗団体戦が行われたが、ハンディキャップをものともせず、ボウリング部チームはダントツのスコアを叩き出し、全ての種目において優勝を独占していた。

競技の後は懇親会と表彰式が行われ、入賞者にはカップとT I UグッズのTシャツなど多くのメンバーから協賛提供された景品が、東村眞会長から手渡された。今回ファミリーで参加した人も多く、パーティー会場では和やかな雰囲気でご交歓風景が見られ、次回の開催も早くして欲しいとの希望もあった。

成績結果は次のとおり。

- 団体の部
 - ①ボウリング部 ②剣道部 ③少林寺拳法部
- 男子の部
 - ①猿田博之 ②大川和男 ③海野正幸
- 女子の部
 - ①関根直子 ②嶋中真理香 ③金子幸子
- 特別賞
 - 殊勲賞 海野正幸 敢闘賞 落合 稔
 - 技能賞 東村 眞 ベストフォーム賞 吉野由有子

アメリカンフットボール部 創部30周年記念式典 開催案内

アメリカンフットボール部は、1966年、国際商科大学の時代に創部され、関東フットボール協会の中でも初期の加盟校として活動し、今年30周年を迎えることとなりました。

これも一重に、大学・他運動部及び、ご支援いただいた皆様のお陰と感謝致しております。

つきましては、左記の要領にて記念式典を開催致しますのでご案内いたします。

日時・平成8年11月23日（祝）

午後5時～8時

会場・ホテルメトロポリタン3階

「富士」の間

東京都豊島区西池袋1-6-1

電話 03-3980-1111

他・フットボール部OBの方で出欠未確認の方は大至急、4期 陳までご連絡下さい。



平成7年度活動報告及び決算報告

平成7年

- 4月6日(木) 第1回常任委員会(兼・第1回役員会)[国際交流研究所]
 ①6年度活動報告 ②6年度会計報告 ③監査報告 ④7年度活動計画 ⑤7年度予算
 ⑥各OB会育成 ⑦指導者懇談会開催4月25日(火) 藍旗会報第7号発行
- 5月24日(水) 正副会長打合せ [タバパール]
- 6月21日(水) 第2回役員会 [国際交流研究所]
 ①藍旗会親睦会 ②会員の資格
 指導者担当者懇談会 [国際交流研究所]
 ①活動報告 ②指導上の問題点 ③大学・藍旗会への要望
- 8月24日(木) 第3回役員会 [国際交流研究所]
 ①ボウリング大会 ②大学側との話し合い ③藍旗賞 ④OB会
- 9月15日(金) 剣道部創立30周年記念祝賀会 [ホテルセンチュリーハイアット]
 東村眞会長 加藤育生 斉藤佳邦 中丸康晴 石井義之 三宅ヨシロウ 神頭正弘ら出席
- 10月14日(土) 第1回親睦ボウリング大会 [田町ハイレーン]
- 11月3日(金) 剣道部創立30周年記念祝賀会 [埼玉県国民年金健康保養センターむさしの]
 東村眞会長出席
- 同日 バドミントン部創立20周年記念祝賀会 [埼玉県国民年金健康保養センターむさしの]
 東村眞会長出席
- 11月22日(水) 正副会長打合せ [タバパール]
- 11月25日(土) ワンゲル部創立30周年記念祝賀会 [五反田ゆうぽうと]
 東村眞会長 池内和彦 三宅ヨシロウ出席
- 12月1日(金) 第2回常任委員会(兼・第4回役員会) [タバパール]
 ①藍旗賞選考 ②OB会育成 ③藍旗会報

平成8年

- 2月3日(土) 第5回役員会 [第一イン池袋]
 ①藍旗会会計 ②藍旗賞授与式進行
 第4回藍旗賞授与式及び祝賀会 [第一イン池袋]
- 2月24日(土) 硬式野球部創立30周年記念祝賀会 [ホテルメトロポリタン]
 東村眞会長 海野正幸 池内和彦 斉藤佳邦 中丸康晴 高道和成ら出席
- 3月22日(金) 正副会長打合せ [国際交流研究所]

収 入 の 部			支 出 の 部			
科 目	予 算	収入金額	科 目	予 算	支出金額	備 考
前期繰越金	405,488	405,488	新聞発行費	500,000	563,620	会報印刷代・郵送費
会費収入	1,000,000	742,000	藍旗会賞費	300,000	218,350	賞状・記念品・横断幕
会合会費	300,000	390,000	会 議 費	500,000	675,793	藍旗賞授与式・役員会
広告収入	60,000	60,000	通 信 費	100,000	34,850	郵送費
利息収入	0	346	事 務 費	100,000	40,325	D P代・同窓会
雑 収 入		30,000	予 備 費	265,488	89,702	祝金・賞品
合 計	1,765,488	1,627,834	合 計	1,765,488	1,622,640	

[平成7年度・藍旗会費納入クラブ名一覧]

1. 剣道部 (206名) 103,000円
2. ヨット部 (102名) 51,000円
3. 陸上同好会 (34名) 17,000円
4. アメフト部 (188名) 94,000円
5. 剣道部 (154名) 77,000円
6. 山岳部 (44名) 22,000円
7. ワンゲル部 (165名) 82,500円

8. ボディビル部 (2名) 1,000円
9. 硬式野球部 (156名) 78,000円
10. ボウリング部 (140名) 70,000円
11. バスケット部 (1名) 500円
12. フェンシング部 (69名) 34,500円
13. 少林寺拳法部 (167名) 83,500円
14. ゴルフ部 (100名) 50,000円
- 合 計 (1528名) 764,000円

平成 8 年度活動計画及び予算

平成 8 年度活動計画

- (1) 役員会、常任委員会の開催
- (2) 藍旗賞授与式の開催
- (3) 藍旗会報の発行
- (4) 藍旗会親睦会の開催
- (5) 各OB会の育成

平成 8 年度予算

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
前期繰越金	5,194	新聞発行費	400,000
会 費 収 入	800,000	藍旗会賞費	250,000
会 合 会 費	400,000	会 議 費	500,000
広 告 収 入	50,000	通 信 費	50,000
		事 務 費	50,000
		予 備 費	5,194
合 計	1,255,194	合 計	1,255,194

『 藍 旗 会 』 役 員 名 簿

役職	期	氏 名	〒	自 宅 住 所	自宅TEL	勤 務 先	勤務先TEL	ク ラ ブ
会 長	2	東 村 真						アメフト
副会長	1	海 野 正 幸						躰 道
副会長	11	池 田 稔						ボウリング
事務長	23	高 道 和 成						躰 道
役 員	1	加 藤 育 生						野 球
役 員	3	八 木 秀 樹						ワングル
役 員	5	清 水 裕 隆						ラグビー
役 員	6	田 原 謙 一						山 岳
役 員	6	斉 藤 佳 邦						剣 道
役 員	11	石 井 彦 光						フェンシング
役 員	14	天 間 基						ヨ ッ ト
役 員	22	石 井 義 之						陸 上
監 査	8	長 野 光 司						ワングル
監 査	10	大 川 和 男						少林寺
相談役	1	辻 内 健						躰 道
相談役	2	神 頭 正 弘						ワングル
相談役	1	三宅ヨシロウ						野 球
相談役	1	池 内 和 彦						躰 道

会費の自動振込方式の推進について

クラブ名	会 費	申込数	振替済	引落し 不 可	金 額
躰 道	10,000円	34	26	8	260,000円
ワ ン ゲ ル	5,000円	30	24	6	120,000円
ア メ フ ト	5,000円～ 10,000円	125	99	26	970,000円
ラ グ ビ ー	5,000円	13	12	1	60,000円
剣 道	10,000円	25	20	5	200,000円
ヨ ッ ト	10,000円	33	29	4	290,000円
陸 上 競 技	5,000円	9	9	0	45,000円

※各OB会の手数料は、123.6円×申込数で計算

現在藍旗会では、会費の自動振込方式を推進しています。これは強制ではありませんので、皆様の判断で結構です。

ただ、一度申込用紙に記入していただきますと、後は、自動的に毎年6月頃に引落としされ、手数料を除いた金額を各OB会に返戻しています。大変便利な方式ですので、ご利用して下さい。

詳細は、事務局へ連絡して下さい。なお、現在の各OB会の利用状況は左の表のとおりです。

= 現役の活動報告 =

ヨ ッ ト 部

大会名 関東学生体育会連盟ヨットレース
期 間 平成8年9月16日
場 所 神奈川県葉山町森戸海岸沖
大会概略及び主将後記
朝8:30頃出艇し、1レース、2レース目は風が5m/s～6m/sあったが午後になるにつれ風がなくなり、3レース目は2～3m/sの微風レースとなる。
成績はあまり良くなかった。スタートしてから加速と、上マークまでのタクティクスの勉強がまだまだ不足していると大会を通じ感じた。

ゴ ル フ 部

大会名 平成8年度関東大学対抗秋季
E-F-Gブロック対抗戦
期 間 9月2日、3日
場 所 那須小川G、C
大会概略及び主将後記
みんな普段通りの力が発揮できたと思う。

硬 式 庭 球 部

大会名 関東学生テニス選手権大会

期 間 平成8年8月16日(土)～25日(月) のとなった。

場 所 各大学テニスコート

大会概略及び主将後記

一年は初めての公式戦で他大学のレベルの高さを感じたと思う。主體的にあまりいい成績が残せなかったので、秋の大会で雪辱を期す!!

アーチェリー部

大会名 関東学生アーチェリー連盟個人選手権大会予選

期 間 1996年8月6、7、8日

場 所 駒沢オリンピック公園第一球技場

大会概略及び主将後記

個人選では、東京国際からは、2年、3年、4年が出場した。

関東アーチェリー連盟に加盟している大学から、団体ではなく、個人の力を試すという試合である。男子は2日間で、50m、30mを射ち、女子は1日で50m、30mを射つ。

それぞれ、上位の方で、得点順に本戦に出場できるというもの。

真夏のあつさや、会場までの遠さで、各個人つかれていたが、それぞれが自覚、責任をもって行動し、良い成績となり、有意義なも

躰 道 部

大会名 埼玉県躰道優勝大会

期 間 平成8年6月2日(予選)16日(本選)

場 所 大東文化大学躰道場、狭山市民総合体育館

大会概略及び主将後記

今回の埼玉大会は、一時『大東文化大学は出場しないとか城西大学は怪我人ばかりだ』等気のゆるみそうな噂があったが、部員達は真剣に稽古に励み、その結果三年ぶりに総合優勝を勝ち取ることができた。しかし、精神面、技術面共にまだまだ未熟なので、更に稽古に励み今後につなげていきたい。

剣 道 部

大会名 第42回関東学生剣道選手権大会

期 間 平成8年5月12日(日)

場 所 日本武道館

大会概略及び主将後記

日々の稽古の成果が十分に発揮できず、残念な思いをしました。

もっと自信をもち、先輩である意地を見せてやろうと思う。

会費納入の依頼

藍旗会会則第二五条に「正会員及び準会員は年会費五〇〇円を納める。その会費は、各OB会が一括してとりまとめ納入する」とあります。未納の会員の方、クラブの方、ぜひご協力を宜しくお願い申し上げます。

なお、藍旗会費(および広告代金)の振込みは左記口座へ。◆富士銀行 川越支店

普通口座 一五一六六四 (名義) 藍旗会

『E-MAILについて』

藍旗会では、電子メールによる連絡及びお問い合わせを受け付けております。

ニフティサーブ

PXP13466

インターネット

KITAKAMICHI@

MSN.COM

： 編集後記 :

今回の藍旗会報の発行が遅れたことについてお詫び致します。ただ役員全員が私事を犠牲にして運営しているのが実情です。もし、運営に協力していただける方がいましたら積極的に事務局に連絡して下さい。お待ちしております。

(編集責任者 ワンゲルOB)